



# 甲府工業高校卓球部通信

## 目標：全国選抜大会出場

師走（しわす）

【今回の言葉】 【「ナナメの関係」の意義】

引用文献 『60歳からの教科書』（著）藤原和博

解 説	<p>学校を地域の「核」として、大人と子どもの交流の場をつくることは、子どもたちに「ナナメの関係」を取り戻してもらうことも意味します。「ナナメの関係」とは、利害関係のない第三者との関係のことです。子どもにとって親や先生は「タテの関係」同世代の友人同士は「ヨコの関係」「ナナメの関係」は親や先生という立場ではない、大人の関係のことを指します。卓球部OBもこのナナメの関係の大人に該当します。貴重な存在です。</p>
-----	--

全国新人合宿に参加して 時田 壮（1年）  
12月3日（金）～5日（日）・YMITアリーナ（滋賀県）



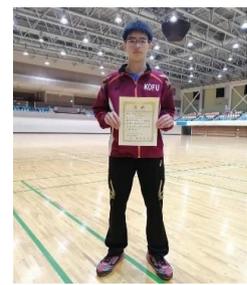

今回参加した「全国高体連新人合宿」を通して、様々なことを学ぶことができた。全国から1名ずつ新人戦で優勝した選手等が集まり、上位4名は海外遠征2次選考会に進むことができる合宿だった。今まで、県外の合宿には何度か参加したことがあるが、今回のような規模の大きい合宿は初めてだった。

1日目、ホテルに到着後すぐにミーティングをした。大会関係者の方から、「10分前行動を心掛けるように」と言われた。どこの場所でも時間前に行動することは大切で、信頼を失わないようにすることがまずは必要だと感じた。

合宿2日目に9試合、3日目に3試合をした。試合前には前回試合の失敗を念頭に置いてウォーミングアップを入念に行った。試合数をこなしている間に、課題が浮き彫りになった。例えば、回り込みだ。三球目やレシーブをするときに、何度か回り込んだが、相手のツツキが鋭く、足が追いつかず中途半端になってしまうことが多かった。また、回り込み切れても、ループドライブを多用してしまい、先手を取り切れなかった。以前からあった課題だが、練習での意識が足りていなかったのかもしれない。ほかにもバックドライブが入らなかったり、ストップが浮いたり、基礎的なことが身につけていないこともよく分かった。他県の選手は、基礎技術が備わっており、ミスが少なく威力もあった。このような課題を克服するためには、一球練習で質を求めて課題を行うことや、多球練習でフォームを定着するようにしていきたい。

今回の合宿に参加して、今の自分の立ち位置と全国のレベルが分かった。時間は限られているので、「まだ来年がある」と考えずに、1つ1つの大会で全力が出せるようにしていきたい。また、今回の経験を周りの部員たちにも伝えて、チーム全体の練習の質を高められるようにしていきたい。

東京選手権予選（ジュニアの部）・12月11日（土）緑ヶ丘体育館
優勝 時田 壮（本大会代表） ベスト8 水口・中村陽



今後の予定	12月19日（日）	東京選手権予選（ダブルス）
	12月25日（土）～27日（月）	全国選抜関東予選（小瀬）
	1月3日（月）～5日（水）	冬季合同強化合宿（千葉）

編集後記	<p>今回の卓球通信は時田の話ばかりです。良いことですが、逆を言うとその他の選手はどうしたの？ということです。1人が活躍するのではなく、複数人が活躍できるようなチームを目指して下さい。</p>
------	--